

本研修は、県内工芸陶磁器業界の後継者の確保及び技術水準の向上を図る目的で実施しています。例年よりも高い倍率のなかから選考された研修生 17 名が、就業のために成形・釉薬コースに分かれて学んでいます。

H23年度 研修コースについて

	期 間	内 容
成形基礎コース	2 年制	ろくろ成形を中心とした基礎技術の研修
成形実践コース	1 年制	商品企画、開発を中心に学ぶ研修
釉薬基礎コース	3 ヶ月制	釉薬原料・ゼーゲル計算等の釉薬基礎を学ぶ研修
釉薬実践コース	9 ヶ月制	釉薬開発手法を学ぶ研修

現在までに累計 767 名が修了しており、地場産業の形成・活力に大いに貢献しています。

今年度の研修実績として、第 51 回日本クラフト展に入選（成形実践コース研修生）のほか、インターンシップ就業先の企業からの正式雇用などがありました。



成形基礎コース「ろくろの基本」



成形実践コース「商品開発」



釉薬実践コース「釉薬開発手法」

伝統工芸等担い手確保事業への研修受入れ

笠間焼協同組合「伝統工芸等担い手確保事業」において、「笠間焼に適した原料」をテーマとした講習の他、技術習得訓練を実施しました。最終年度となる今年は製品づくりとして茶碗制作に取り組み、実習で作った製品を被災地支援に活用しました。



技術習得（ロクロ成形）



技術習得（施釉・窯詰）



技術習得（窯出し）



被災地への出荷

基礎となった事業 平成 23 年度人材育成事業 平成 21～23 年度伝統工芸等担い手確保事業

担当部門

工芸技術部門

部 門 長 佐藤 茂

TEL : 0296-72-0316

主任研究員 常世田茂

主 任 久野 亘央

嘱 託 佐藤 剛

材料技術部門

主 任 吉田 博和